



**Doado pelo
Povo Japonês**

草の根・人間の安全保障無償資金協力

日本国政府、パラナ州ロアンダ市に対し医療器材を供与

平成26年6月27日、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「セイツゴ・ヒラタ市立病院医療機材整備計画」（供与額：総額US\$95,621（約222,988レアル））の供与式がパラナ州ロアンダ市のセイツゴ・ヒラタ市立病院において行われました。供与式には、池田敏雄在クリチバ日本国総領事、フラヴィオ・アラミス・アコルシ・ロアンダ市長、ルイス・ニシモリ連邦下院議員、ルイス・ロマネリ州議会議員、リカルド・カジカワ・ロアンダ市保健局長、マルリ・イワモト・ロアンダ文化体育協会会長、地元の関係者ら約130名が出席しました。

1962年に個人病院として設立されたセイツゴ・ヒラタ病院は、2001年に市立病院としてロアンダ市が運営することになり、現在は手術室、分娩室および50床を有し、中核的医療機関及び救急病院として同市及び隣接する自治体市民への医療サービスを提供しています。しかしながら、同病院に設置されている医療器材の大半は老朽化しており、器材を買い換えるための予算を確保することが困難であったことから、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームを通じて高圧蒸気滅菌器、麻酔器、手術照明灯、生体情報モニターなどの医療器材の購入を支援することとなりました。同プロジェクトを通じて、同地域の医療サービス環境が改善されることが期待されてます。

供与式でリカルド・カジカワ保健局長は、日本政府に感謝の意を述べると共に、同プロジェクト多くの命が救われることを期待する旨述べました。

続いて、池田敏雄総領事は、日本国政府はロアンダ市が運営するセイツゴ・ヒラタ市立病院に対し医療器材を供与することができ、大変喜ばしいと思う旨述べ、日本国政府および日本国民を代表し、同支援で供与された器材が有効に活用され、ロアンダ市の医療サービスの向上につながることを期待すると共に、日伯両国の友好の絆を一層強化される事を願う旨述べました。

続いて、ルイス・ニシモリ連邦下院議員はロアンダ市民の皆様にお祝いの言葉を述べるを共に、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じてブラジルの社会開発を支援する日本政府及び在クリチバ日本総領事館に感謝の意を述べました。

最後にフラヴィオ・アコルシ・ロアンダ市長は、日本政府に感謝と喜びの意を述べると共に、このプロジェクトは日本政府の寛大さの表れであり、この支援はロアンダ市民、特に貧困

層の住民へ大きな裨益につながる旨述べました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ日本国総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

【お問い合わせ先】

在クリチバ日本国総領事館
草の根・人間の安全保障無償資金協力
Tel : 041-3322-4919
Email : cgjapc@c1.mofa.go.jp



記念プレートの除幕(左から)ロマネリ州議会議員、ニシモリ連邦下院議員、池田総領事、アコルシ市長、ヴィルジニア病院長



供与された医療器材



日系団体による太鼓の演奏



スピーチをする池田総領事